

令和6年度 第1回 松野町まちづくり委員会会議録

日時：令和6年8月21日（水）15:00～17:00

場所：松野町役場 庁舎2階 議場兼大会議室

【委員（出席者）】

氏 名	出欠	氏 名	出欠	氏 名	出欠
酒 井 博 司	出	長 谷 信 昭	出	井 上 重 人	欠
岡 村 勝	出	大 内 義 昭	出	毛 利 恒 子	出
中 脇 優	出	豊 永 純 一	欠	毛 利 伸 彦	出
中 湯 廣 和	出	山 下 武 久	出	芝 美 紀	欠
須 田 正 文	出	中 森 京 司	出	山 本 紗 代	欠
村 田 和 宏	欠	岡 正 司	出	—	—
竹 内 義 富	欠	谷 清	出	—	—

～ 次 第 ～

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

第2次森の国松野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について

4 自由討議

令和6年度第1回松野町まちづくり委員会の開催結果について

日時：令和6年8月21日（水）15:00～17:00

場所：松野町役場 庁舎2階 議場兼大会議室

参加委員：酒井委員、岡村委員、中脇委員、中湯委員、須田委員、長谷委員、大内委員、
山下委員、中森委員、岡委員、谷委員、毛利（恒）委員、毛利（伸）委員

町参加者：八十島副町長

友岡課長（総務課）、山本課長補佐（防災安全課）、小西課長（農林振興課）、
谷口課長（建設環境課）、芝課長（町民課）、瀧本課長（保健福祉課）、
高山課長補佐（教育課）

井上課長、土居課長補佐、細田主事（ふるさと創生課）

内容：概ね次のとおり。

1. 開会あいさつ（八十島副町長）

2. 協議事項

(1) 第2次森の国松野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について

ふるさと創生課が資料に基づき総評を行った後、関係各課から実施事業について説明を行った。

3. 自由討議

発言者	内容
	（ぽっぽ温泉について）
委員	お盆前から営業終了時間が20時から22時に延長されている。利用者からもかなり好評であるため、ぜひ継続していただきたい。
事務局	指定管理者制度を導入して宇和島福祉協会に運営していただいている。コロナ禍で営業時間を20時まで短縮していたため、コロナ禍が収まってきている中、町としては営業時間を元の22時までにしてもらうようお願いしているところ。しかし、人材確保が難しく、かなり無理をして運営してもらっているのが現状である。現在、時間ごとの入浴者数のデータを蓄積しており、このデータを基に、利用者の満足度を考慮しつつ、適切な人員配置、営業時間の検討をしていく。
	（ふるさと納税について）
委員	キャニオニングや水際のロッジを返礼品に加えることはできないのか。
事務局	どちらも返礼品に加えている。松野町の場合、ふるさと納税で約1,000万円歳入があり、他の自治体へのふるさと納税で約300万円が流出している状況。県内には赤字になっている自治体もあり、経費等も含めしっかり検討していく。また、松野町に縁がある人との関係性をつないでいくこともふるさと納税の目的でもあるため、その点をしっかり踏まえて取り組んでいきたい。

	(各課の連携について)
委員	各課で様々な事業に取り組んでいるが、縦割りが強いように思える。援農ボランティア等は各課で連携できると考える。課の垣根を越えて事業に取り組んでいただきたい。
事務局	農林振興課で令和5年度から援農ボランティアを開始し、ふるさと創生課を中心にワーケーション事業を進めていた。今年度からデジタル技術活用した「おてつたび」というサービスを活用して、農林振興課とふるさと創生課が連携して援農、就農及び観光のワーケーション事業に取り組んでいる。まずはこの2課で取り組み始めたところであり、本事業の軌道を見つつ、他課も含めて連携していきたい。
	(関係人口創出事業について)
委員	新規就農者はやはりUターン者が多い。町外へ出て行った人との関係性が途切れないような仕組みを作ってほしい。
事務局	町外へ出て行った人との関係を繋ぐため、今年度「FAVTOWN」という会員サイトを作成した。お盆から会員登録を開始し、現在約200名の会員が獲得できている。広域連携により効果が高まると考え、鬼北町と愛南町と連携して事業を実施している。町外に出た後も松野町との関係性を薄れさせないため、切れ目なく松野町の情報を提供できるよう、今後も会員数を増やしていきたい。
	(E-BIKEについて)
委員	コースはどこなのか。
事務局	滑床林道をコースとする。自由に開放して走れるようにするのではなく、ガイドと走ることを想定している。キャニオニングと同様に松野町の産業としていきたい。
	(シルバー人材センターについて)
委員	シルバー人材センターを設立できないのか。
事務局	今年度、担当課と社会福祉協議会で様々な資料を基に設立できるかどうか検討しているところ。
委員	設立の目途はあるか。
事務局	設立する方向で検討しているのではなく、現況整理と設立ができるかどうかの可能性について検討を進めているところ。